

サーキュラーエコノミー、食品廃棄削減と政策統合

渡辺浩平(連携会員・帝京大学 都市廃棄物管理・循環型社会論)

*「サーキュラーエコノミー」思想は環境効率の向上に偏重し、環境制約(限界)を配慮していない。「リサイクル万能論」復活?

(*2050までのGHGの排出上限 *多様性保護に最低限必要な保護地域の割合)
環境的近代化では危機回避できない。「知足」社会をめざすべき。

* 食品廃棄削減：循環政策(SDG12)と食料/気候政策(SDG2/13)の連携？

廃棄削減 -> 供給削減 -> 生産・輸入の削減 (顕在化していない)

国内農業持続なら自給率の向上? (顕在化していない)

TPP等による食料の必須輸入枠の継続 (例:牛乳余ってもバターチーズの輸入)

食品廃棄削減によるGHG削減量のNDCへの反映 (されていない)